



近畿大学

“オール近大”川俣町発・復興人材育成プロジェクト

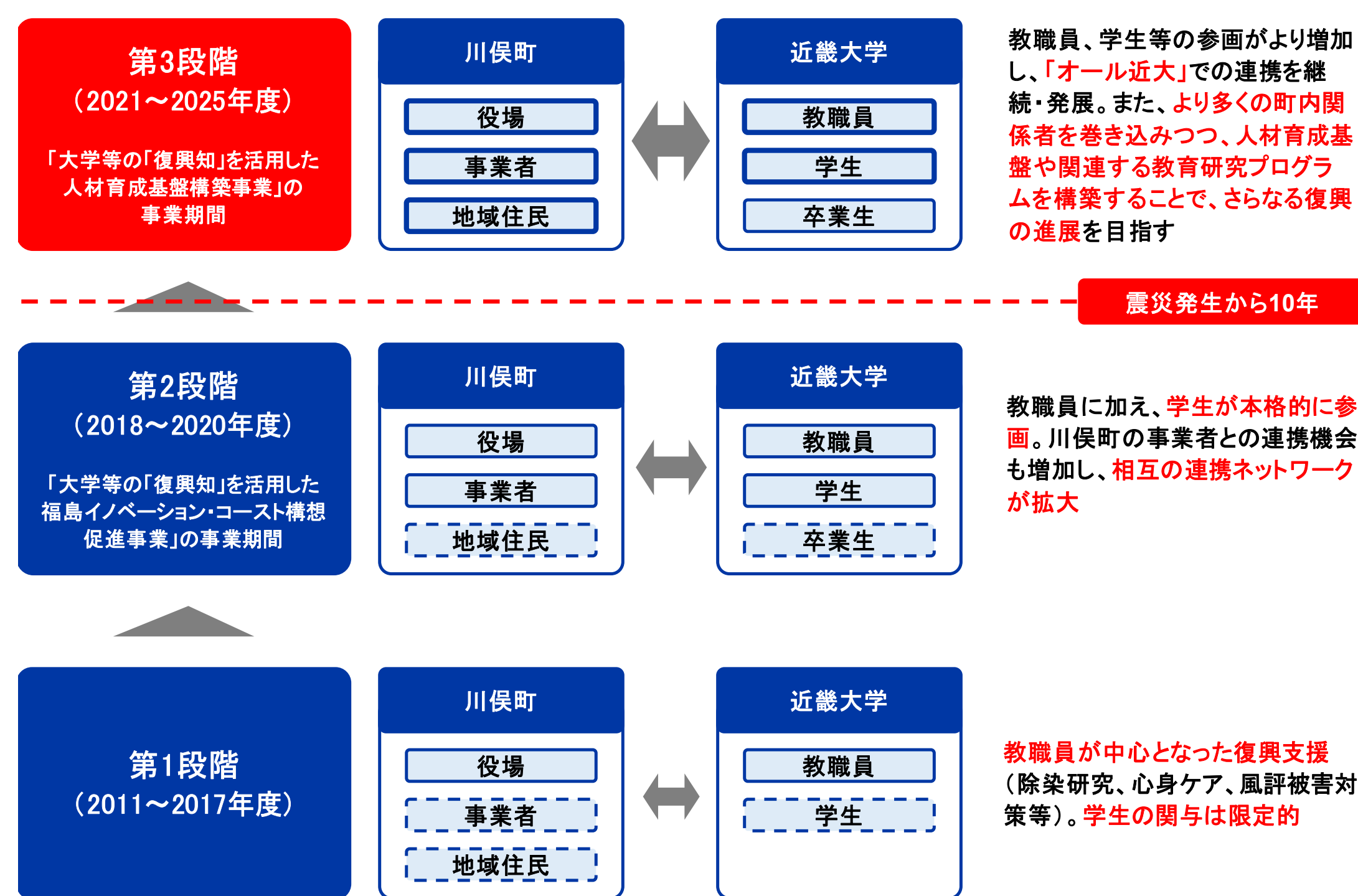


連携市町村
川俣町

事業概要

- 川俣町とのこれまでの連携蓄積をもとに、**総合大学としての研究力・教育力・発信力**を活かしつつ、近畿大学の総力を挙げて、“オール近大”で事業を実施する（2021～2025年度）
- 5つの重点分野（A：農業・食、B：原子力・除染・リスクコミュニケーション、C：観光、D：集落復興・コミュニティ再生、E：SDGs）を設定し**、川俣町を拠点に、学生、地域関係者の双方を対象とした教育研究プログラムを開発し、**小中学生～社会人までの様々なターゲット**に対して適用（実施）する

川俣町・近畿大学の連携による復興関連活動の進展



地域（川俣町）との連携体制の構築、及び、5年間の人材育成目標

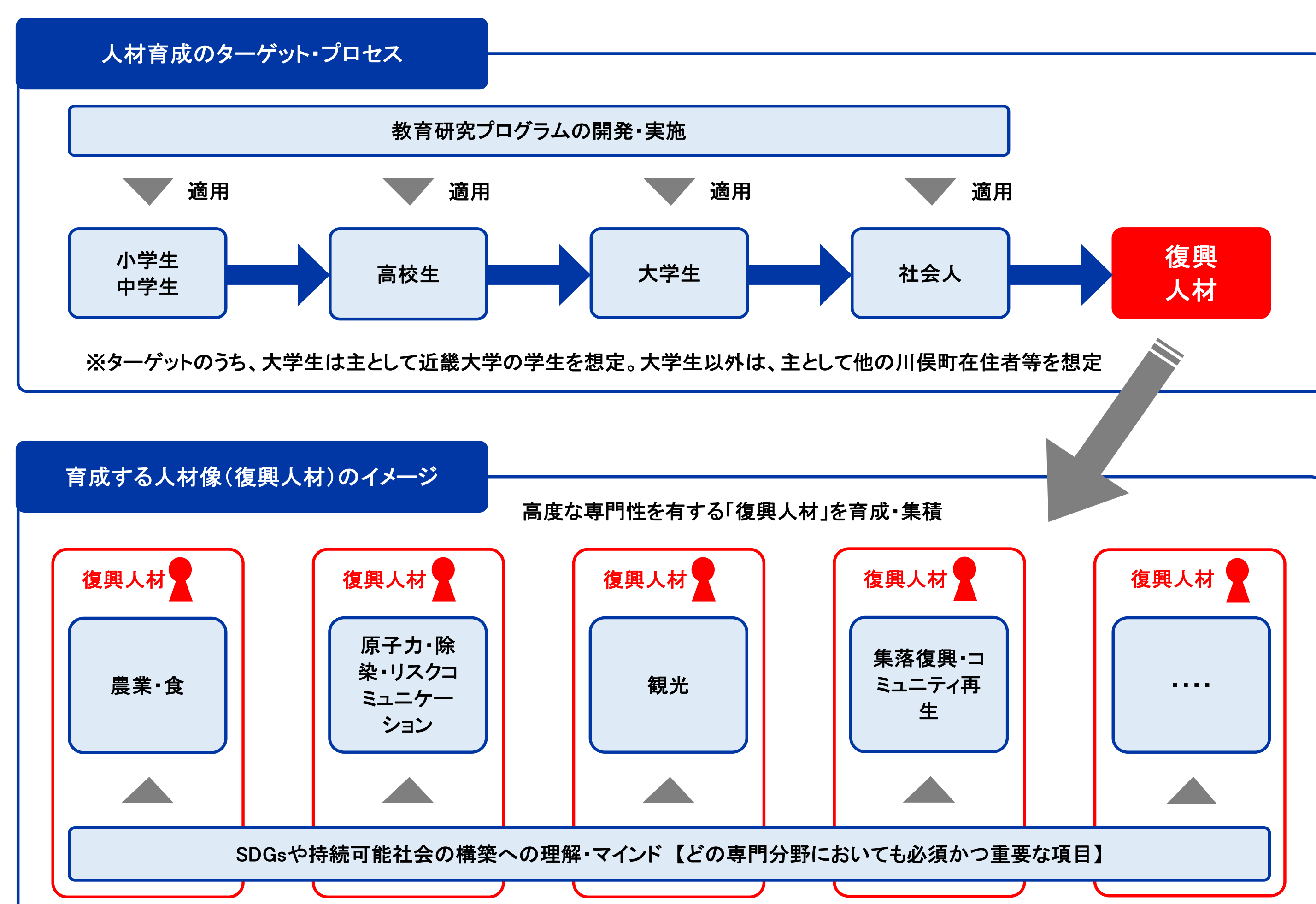
【連携体制】

- 「川俣町発 復興人材育成検討会」の開催等を通じて、川俣町関係者（役場、事業者、住民、学校関係者 等）との連携体制を構築する

【人材育成目標】

- a)学生、b)地域関係者の双方を対象とした教育研究プログラムを開発し、様々なターゲットに対して適用（実施）する
- SDGsや持続可能社会の構築への理解・マインドを有し、かつ、震災復興や福島イノベーション・コースト構想の実現に寄与する**多種多様な専門性を有する未来志向の「復興人材」の育成・集積**を図る

人材育成のターゲット・プロセスと育成する人材像（復興人材）のイメージ



これまでの主な活動・成果

1 人材育成目標の設定

川俣町関係者との連携体制の構築、人材育成目標の設定

2 教育研究プログラムの開発・実施

※座学、演習、フィールドワーク、共同研究、商品開発等の形態で実施

A：農業・食関連

（かわまたジェラート・かわまたバーガー・アンスリウムスイーツ等の商品開発、農業インターンシップの実施、熱帯果樹や薬用植物等の試験栽培 等）



B：原子力・除染・リスクコミュニケーション関連

（野生キノコの採取、放射線測定 等）



C：観光関連

（フードツーリズムの開発、コーヒーフェスティバルの開催 等）



D：集落復興・コミュニティ再生関連

（サイクルツーリズムの充実、サイクルロゲイニングのイベント開催、地域ワークショップの実施 等）



E：SDGs関連

（SDGs探究授業用のデジタル教材の作成、授業の実施 等）



その他：大学・地域連携学講座（役場職員との勉強会）、川俣町×近畿大学 復興連携フェスタの開催、インターンシップ（農業、民泊）、町広報誌でのPR 等

3 市町村分科会

川俣町分科会の幹事校を担当